

あべともこニュース

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

利権を排し、真つ当な政治を！

◆真に安全なワクチンの開発を！

新型コロナウイルスはウイルスのたんぱく質を作るものになる遺伝情報の一部(mRNA)を体内に入れ、免疫を創るといふ、全く新しいワクチンです。従って広く副反応を集め、綿密な分析は不可欠。ところが副反応が接種後3か月、半年、1年後などに出現(遅発性)したり、長引いたり(遷延性)する事例が多発していたにも関わらず、厚生省はこれまでの報告基準(接種から発現まで28日間)を変えず、こうした副反応が見過ごされて来たのです。

あべともこは報告基準を改め、医療機関への注意喚起を徹底して、可能な限り副反応を取集して分析すべきと国会で追及。その結果、ようやく厚生省は重い腰を上げ、遅発性・遷延性の副反応報告の徹底を、先月、改めて都道府県に通知しました。

来月から、mRNAが体内で自己増殖するタイプの「次世代型」ワクチンも接種開始と。その大前提はこれまでの副反応の検証と被害の救済です。

◆石橋湛山記念館を訪ねて

8月中旬、超党派石橋湛山研究会の有志で山梨県甲府市の平和ミュージアム・石橋湛山記念館を訪問。盆地の甲府は暑さも格別でしたが、館長はじめボランティアの方々が維持、運営されている記念館は、戦時の遺品などの展示も充実していました。

石橋湛山は、戦前は日本の満州侵略に小日本主義を掲げて反対の立場を取り、戦後もマッカーサー占領下で四年間の追放をされたのち、1956年の自民党初の総裁選挙の決選投票で岸信介を破って首相となりました。

就任時の所信に述べた五つの誓いとしての綱領は、国会運営の正常化、政界の粛正、雇用の増大、福祉国家の建設、世界平和の確立でした。

政治と金や統一教会との癒着が問題になる昨今、政治家は襟を正して湛山の言葉に耳を傾けるべきと思います。



◆“裏金国家”を糺す！

16日、憲法フォーラム「なぜ日本は貧しくなるのかー失敗したアベノミクスー」を藤沢市民会館で開催。講師に、金子勝慶應義塾大学名誉教授を迎え、2015年から始まる言論を抑圧する自民党「アベ派」を中心とした政治経済体制について講演いただきました。

金子氏によれば、この間の自民党裏金問題と、さまざまなムラ社会、いわゆる経済利権と、それを誤魔化すための忖度人事ー内閣人事局による高級官僚掌握に加え、パーティー券問題等、あらゆる力ネを乱用した結果、現在の“裏金国家”が確立されてしまったと…。

安全性も担保されないのにコスト高ばかりの原発。不具合ばかりで全くメリットがないマイナ保険証…どれも、利権を生み出すための温床です。

自民党総裁選が行われていますが、立憲民主党も代表選！力強い野党、国民の声をしっかりと国、制度に反映すべきだ！と金子氏の弁には拍手喝采！そう遠くない総選挙に向けて、阿部ともこも国家を糺すべく邁進します。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区(藤沢市・寒川町) 当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともここどもクリニック(湘南台)理事長 現在、厚生労働委員会 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ 公式X (旧Twitter) @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



9/16 憲法フォーラムにて